

GALE  
American  
Historical  
Periodicals

収録誌 6,000 誌以上、総ページ数 700 万ページ以上、  
アメリカ古書協会のアメリカ歴史雑誌コレクションを  
電子化してフルテキスト検索

# American Historical Periodicals

from the American Antiquarian Society



# American Historical Periodicals from the American Antiquarian Society

本データベースは、アメリカ古書協会（American Antiquarian Society, AAS）が所蔵するアメリカの雑誌コレクションを搭載するデータベースです。2018年まで他社が持っていた電子コレクションの全コンテンツと販売権を小社が継承し、新たにスキャンした雑誌を追加した上で、定評ある小社プラットフォームで提供するものです。収録雑誌数は6,000誌以上、総ページ数は700万ページ以上に及びます。古くは18世紀の植民地時代にイギリスを真似て雑誌作りをしていた時代から、独立後にナショナリズムが高揚する中でアメリカ独自の文化を創出することを目指していた時代を経て、19世紀半ばから後半にかけて、出版活動の隆盛を背景に多くの作家や思想家が輩出した時代まで、アメリカの雑誌の歴史が一望できるコレクションです。小社はこれまで、16世紀から20世紀までの書籍約68,000冊を集成するSabin Americana、19世紀の新聞約400紙を集成するNineteenth Century U.S. Newspapersという形で、アメリカの書籍と新聞の電子コレクションを提供してきましたが、本雑誌コレクションはこれらと補完し合うものです。

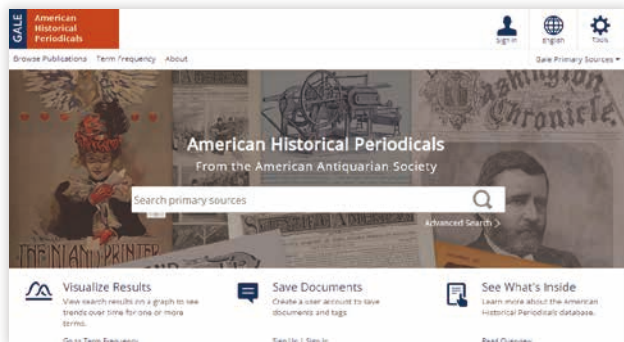
## 総合誌、文芸誌、女性誌、宗教誌から 学術誌、業界誌、生活誌、趣味雑誌まで、 幅広く収録

収録雑誌を一瞥すると、総合雑誌、文芸誌、政論誌、女性誌、ファッション誌、児童誌、宗教誌、挿絵雑誌、科学誌、医学誌など、一般的なタイプの雑誌が見られますが、さらに詳しく見ると、美術、写真、建築、音楽、演劇、ミュージカル、民謡、哲学、歴史、系譜学、紋章学、古銭学、法律、政治、軍事、消防、警察、教育、経済、経営、簿記、会計、統計、広告、金融、労働、鉄道、馬車、郵便、船舶、保険、不動産、工業、電信、特許、時計、博覧会、鉱業、石炭、鉄鋼、食品、醸造、茶、農業、酪農、園芸、林業、製材、養蜂、養鶏、羊毛、繊維、数学、天文学、工学、地理学、植物学、昆虫学、博物誌、考古学、歯学、心理学、精神医学、スポーツ、チェス、野球、競馬、体操、登山、スケート、旅行、社交、切手収集、ライティング、ユーモア、図書館、印刷、出版、書店、家庭、家事、育児、家具、絨毯、帽子、裁縫、料理、結婚、健康、慈善、漫画等々、様々なテーマに特化した学術誌、機関誌、評論誌、業界誌、団体誌、地方誌、生活誌、啓蒙雑誌、趣味雑誌が刊行されていたことが分かります。また、奴隷制廃止、奴隷制擁護、アフリカ植民、自由貿易、保護貿易、社会主義、無政府主義、無神論、女性参政権、女性参政権反対、労働者の地位向上、孤児支援、聾啞者教育、平和運動、死刑廃止、禁酒運動、反喫煙運動、反カトリック、キャンプ・ミーティング、動物愛護、監獄改革、綴り字改革、科学振興等、理念や思想を掲げて社会の制度や慣習を変える改革運動の旗印となった雑誌もあれば、骨相学、心霊術、催眠術、占星術、記憶術、速記術等、科学の発展という時代背景の中でブームを巻き起こした疑似科学や諸々の術に関する雑誌、さらにはフリーメーソン系や反フリーメーソン系の雑誌もあり、この時代のアメリカ人の関心の在り様を浮き彫りにします。様々な集団、団体、機関の中でも特に雑誌出版に熱心だったのがキリスト

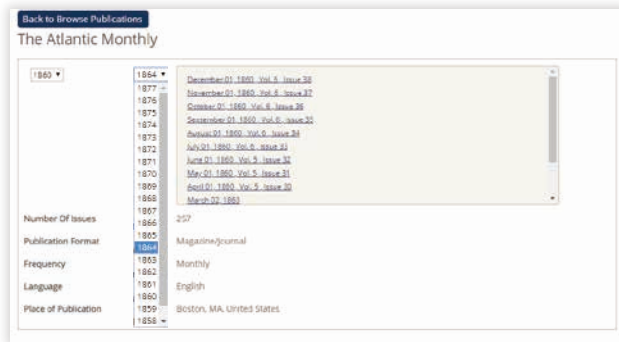
教会です。19世紀のアメリカではキリスト教各宗派が社会の問題に積極的に関与しましたが、本コレクションには、メソジスト教会、バプテスト教会、会衆派教会、長老教会、米国聖公会、ユニテリアン教会、ルーテル教会、カトリック教会、クエーカー、キリスト再臨派（アドベンチスト）、ユニバーサリスト等、キリスト教各宗派が道徳的影響力を発揮すべく発行した夥しい数の雑誌が収録されています。文芸誌では『ノース・アメリカン・レビュー』『ニッカーボッカー』『アトランティック・マンズリー』など、独自のアメリカ文学の形成を証言する雑誌から、マガジニスト、エドガー・アラン・ポーが編集に携わった幾多の雑誌、『ハーバース・マンズリー』『ハーバース・ウィークリー』『パトナムズ・マンズリー』『スクリブナーズ・マンズリー』など、アメリカ文学の隆盛を支えた名門出版社系の雑誌まで、作家や出版人らが織り成すアメリカ文壇史の貴重な事実と情報を提供します。女性誌では、その後の女性誌、ファッション誌の原型となった『ゴードイズ・レディーズ・ブック』が、児童誌では、19世紀アメリカで最も人気を得た『ユース・コンパニオン』が見逃せません。その他、アフリカ系アメリカ人や先住民の発行した稀少な雑誌もあれば、アイルランド系、スコットランド系、ウェールズ系、ドイツ系、フランス系、ノルウェー系、スウェーデン系、ポルトガル系など、民族的出自を同じくする人々が発行した雑誌が多いのも、移民の国アメリカならではの特徴です。雑誌というものが政治理念、社会思想、経済的利害、信仰、民族的出自、趣味を同じくする人々が集まって出来上がるものであるとすれば、この雑誌コレクションはアメリカ史における思想と利害と信仰と趣味の移り変わりを明らかにする格好の資料集です。なお、本コレクションにはイギリス、カナダ、アジアなどアメリカ以外で発行された雑誌も収録されています。とりわけ、イギリスの雑誌は多く、『ジェントルマンズ・マガジン』『ロンドン・マガジン』等、18世紀のアメリカ人が仰ぎ見た雑誌から、『エジンバラ・レビュー』『ブラックウッズ・マガジン』『チェーンバーズ・ジャーナル』『コーンヒル・マガジン』等の19世紀の雑誌まで著名な雑誌が目白押しです。

## 米国最大級の歴史雑誌所蔵機関としての アメリカ古書協会

独立戦争期の愛国派で印刷業者のアイザイア・トマスにより1812年に創設されたアメリカ古書協会は、創設以来、書籍、パンフレット、ブロードサイド、新聞、雑誌、楽譜等の印刷物から手稿資料まで、精力的に収集してきました。同協会はハンティントン図書館、フォルジャー・シェイクスピア図書館、モーガン図書館らと並ぶ米国屈指の研究図書館の一つとして、米国の学術機関や図書館業界において大きなプレゼンスを持ち、所蔵資料は膨大なものですが、中でも歴史雑誌・新聞の所蔵規模は米国最大級を誇ります。米国歴史雑誌に関する書誌刊行物は、その多くがアメリカ古書協会の所蔵情報を掲載しており、古書協会が米国歴史雑誌の書誌情報に関する最後の拠り所であることを示しています。本データベースは、米国の歴史雑誌の電子コレクションを提供するに止まらず、信頼できる書誌情報をも提供するものです。



トップページ



特定の雑誌の巻号を選び、閲覧することが可能



一字一句までフルテキスト検索。検索語はハイライト表示



別契約の Gale Digital Scholar Lab では、様々なテキストマイニングのツールをご利用になれます。この例は骨相学の記事を対象にして、Nグラム頻度の解析結果をワードクラウドで表示したものの

## データベースの概要

- ◆ **収録資料**：雑誌（約 6,000 誌以上、700 万ページ以上）
- ◆ **収録期間**：17 世紀後半～ 20 世紀前半
- ◆ **原本所蔵機関**：アメリカ古書協会（AAS）
- ◆ **言語**：英語、ドイツ語、ウェールズ語、フランス語、スペイン語、ダコタ語、ハワイ語、スウェーデン語ほか
- ◆ **機能**：ページ送り、画面拡大・縮小、全画面表示、輝度・コントラスト調整のビューワ機能の他、印刷、PDF ファイルのダウンロード、OCR テキストのダウンロード、書誌自動生成、書誌情報のエクスポート、メール送信、ブックマーク、タグ付与等

クラウド上でテキストマイニングするプラットフォーム、Gale Digital Scholar Lab（別契約）を導入いただいた機関は、Lab 上にてご導入済みデータベースのコンテンツをご利用いただくことができます（一部データベースを除く）。本データベースも Lab でご利用可能です。詳しくはお問い合わせ下さい。

### 《小社が新たにスキャンした雑誌（200 誌）の主要なタイトル》（※）は新たに巻号が追加されたものです。

- The American Annual of Photography
- American Anthropologist
- The American Antiquarian (※)
- Banner of Light (※)
- Bulletin of the American Geographical Society of New York
- Frank Leslie's Boys' and Girls' Weekly (※)
- The Inland Printer
- The New York Picayune
- The Observer, In Dialogue
- The People's Literary Companion (※)
- Proceedings of the Academy of Natural Sciences of Philadelphia (※)
- Proceedings of the American Academy of Arts and Sciences
- Quarterly Publications of the American Statistical Association
- Scientific American (※)
- The Woman's Journal (※)

### 《関連商品》

#### ◆ Sabin Americana 1500-1926

16 世紀から 20 世紀初頭までの南北アメリカ関係の書籍、パンフレット、ブロードサイド、定期刊行物、合計約 68,000 巻を収録し、ジョセフ・サビンの書誌『ビブリオテカ・アメリカーナ』に基づく電子コレクション。

#### ◆ Nineteenth Century U.S. Newspapers

19 世紀にアメリカで発行された新聞約 400 紙を収録。可能な限り地域と時期を包括的にカバーするよう、ジャーナリズムの歴史、アメリカ史の専門家が選定した信頼の置けるコレクション。



## 《収録タイトル例》

以下とは異なる誌名で発行されていた時期もあります。

( ) 内は本コレクションの収録期間ですが、収録期間として示されている年代の中にも欠号のある場合があります。

## 18世紀発行誌

- ◆ **The American Magazine (1741)**  
フィラデルフィアの出版人アンドリュー・ブラッドフォードが創刊した月刊誌。フランクリンがアメリカ初の雑誌を発行する構想を練っているのを知り、慌ててフランクリンの雑誌編集者に内定していたジョン・ウェブを編集者に引き抜き、急仕立てに発行。わずか3日の差でアメリカ初の雑誌発行人の名誉を得ることになったが、3号で休刊した。
- ◆ **The General Magazine and Historical Chronicle (1741)**  
ベンジャミン・フランクリンがイギリスの『ジェントルマンズ・マガジン』や『ロンドン・マガジン』をモデルにフィラデルフィアで発起して発行した月刊誌。わずか6号で終わったが、同じ年に発行されたブラッドフォードの American Magazine と並ぶアメリカ史上初の雑誌。
- ◆ **American Magazine and Monthly Chronicle (1757-1758)**  
教育者ウィリアム・スミスが創刊。スミスが創設した文芸サークル、スウェインズの機関誌として洗練された趣味の普及に努めた。
- ◆ **The Royal American Magazine (1774-1775)**  
独立戦争前夜に急進的的反英グループのメンバー、アイザイア・トマスによりボストンで創刊され、独立の大義を高らかに掲げた。ポール・リヴィアの銅版画を掲載した同誌は挿絵を掲載したバイオニアの雑誌。トマスは後にアメリカ古書協会を創設する。
- ◆ **The Pennsylvania Magazine (1775-1776)**  
フィラデルフィアの出版人ロバート・エイトキンが独立革命勃発前夜に発行した月刊誌。独立革命期のベストセラー「コモン・センス」で有名なトマス・ペインも編集に携わった。時期が時期なだけに政治の話題が多いが、愛や結婚に関する記事も見られる。
- ◆ **Columbian Magazine, or Monthly Miscellany (1786-1790)**  
亡命アイルランド人マシュー・ケアリーらがフィラデルフィアで発行した月刊誌。アメリカのシンボル「コロンビア」をタイトルに掲げていることに見られる通り、新生国家アメリカの文化的アイデンティティを模索した。
- ◆ **The American Museum (1787-1793)**  
Columbian Magazine から退いたマシュー・ケアリーが発行した月刊誌。ペインの『コモン・センス』、ワシントンの『軍への回状』など、独立革命期の文書を復刻して掲載した他、オリジナルの文芸作品も多い。多くの予約購読者を獲得し、Columbian Magazine と並び、アメリカ史上初めて商業的に成功した雑誌。
- ◆ **The American Magazine (1787-1788)**  
辞書編纂者ノア・ウェブスターが29歳の時にニューヨークで創刊した雑誌。
- ◆ **The Massachusetts Magazine (1789-1796)**  
18世紀の雑誌の中では比較的長い期間発行された雑誌。アイザイア・トマスが創刊。女性読者を意識し、フェミニスト詩人ジュディス・サージェント・マリーの作品を掲載し、メアリー・ウルストンクラフトの『女性権利擁護論』を紹介した。
- ◆ **The New-York Magazine (1790-1797)**  
18世紀の雑誌の中では比較的長い期間発行された雑誌。1794年から1796年にかけて掲載された劇評(The Theatrical Register)は演劇史の貴重な資料。
- ◆ **The Monthly Magazine, and American Review (1799-1802)**  
アメリカ最初の職業作家チャールズ・ブロックデン・ブラウンが創刊した文芸誌。

## 総合誌

- ◆ **Niles' Weekly Register (1814-1849)**  
1811年創刊の週刊ニュース雑誌。政治的に中立的な立場から政治の出来事を報じた。
- ◆ **The United States Magazine and Democratic Review (1837-1851)**  
ジャーナリスト、ジョン・オサリバンが創刊した政論・文芸誌で、政治的には民主党系。領土拡張政策を正当化するイデオロギー「マニフェスト・デスティニー」はオサリバンが本誌で初めて使った人口に膾炙した。ナサニエル・ホーソーン作品を多く掲載した。
- ◆ **Harper's New Monthly Magazine (1850-1877)**  
19世紀の大出版社で現在も続く老舗出版社ハーバー・アンド・ブラザーズの雑誌。自社が抱える作家の連載小説や刊行予定の作品の抜粋を掲載するなど、自社の宣伝媒体として創刊されたが、それに止まらず、週刊誌(Harper's Weekly)とともにその後の総合雑誌に多大な影響を与えた。挿絵でも有名。
- ◆ **Putnam's Monthly Magazine (1853-1870)**  
出版社パトナム社の創業者ジョージ・パーマー・パトナムが創刊した高級誌。メルヴィル、ロングフェロー、ローウェル、ソロー、ブライアント、ジェイムズ・フェニモア・クーパーらが寄稿。
- ◆ **Harper's Weekly (1857-1876)**  
ハーバー社の週刊誌。南北戦争期に最も政治的影響力を発揮した。トマス・ナスト、ウィンスロー・ホーマー、リヴィングストン・ホプキンスら最良の挿絵画家を擁したことでも有名。とりわけ、ナストとの関係は20年に及び、南北戦争はその挿絵により統後に伝えられ、ニューヨーク市政の政界汚職、ツウィード・リング事件はナストやホーマーの諷刺漫画によってメディア的事件としても記憶されることになった。
- ◆ **The Nation (1865-1877)**  
現代も続く米国で最も古い週刊誌。初代編集長はアイルランド出身のエドウィン・ゴドキン。党派政治からは距離を置いてリベラルな論調を取り続けた。
- ◆ **Lippincott's Magazine (1868-1876)**  
Harper's, Putnam's と並ぶ出版社系の月刊誌。
- ◆ **Scibner's Monthly (1870-1877)**  
出版社チャールズ・スクリブナー社の月刊誌。第一級の執筆陣、洗練された図版で一世を風靡したクオリティ・マガジン。

## 文芸誌

- ◆ **The Port Folio (1801-1836)**  
アメリカ初の文芸誌。創刊したジョセフ・デニーは18世紀初頭のイギリス文芸誌『スペクテーター』のアディソンに因み「アメリカのアディソン」と呼ばれる。チャールズ・ブロックデン・ブラウンやジョン・クインシー・アダムズら当時の優れた作家や思想家が寄稿した。
- ◆ **The Monthly Anthology (1803-1811)**  
ボストンで創刊された文芸誌。2代目編集長はラルフ・エマソンの父ウィリアム・エマソン。文芸サークル、アンソロジー・クラブを設立し、安定的な文芸出版を目指すも1811年に廃刊、その精神はThe North American Reviewに引き継がれた。
- ◆ **The North American Review (1815-1876)**  
ボストンの高級文芸誌。19世紀から20世紀前半にかけてのアメリカの文芸、芸術、思想に大きな影響を与えた。Atlantic Monthly と並ぶボストンの二大文芸誌であり、アメリカのヨーロッパからの知的・文化的自立を証言するドキュメント。

- ◆ **The New-York Mirror (1823-1844)**  
外国の作家よりも自国の作家を優先し、文学におけるナショナリズムの姿勢を打ち出した。
- ◆ **The United States Literary Gazette (1824-1827)**  
ボストンの文芸誌。ウィリアム・カレン・ブライアント、ヘンリー・ワズワース・ロングフェローが寄稿した。
- ◆ **The Knickerbocker or New-York Monthly Magazine (1833-1863)**  
ニューヨークにあってアメリカ自前の文学の発展を演出した。ワシントン・アーヴィング、ジョン・フェニモア・クーパーらニューヨークだけでなく、ホーソーン、ロングフェローらニューイングランドの作家も寄稿した。誌名の Knickerbocker はアーヴィングの作品に由来する。
- ◆ **The Southern Literary Messenger (1834-1864)**  
ポーが一時期編集したことで知られる南部を代表する文芸誌。
- ◆ **The Western Messenger (1835-1841)**  
ケンタッキー州ルイスヴィルで刊行された文芸誌。ニューイングランドの超絶主義運動との結びつきが強く、ラルフ・エマソンの詩を刊行した最初の雑誌。キーツの「アポロ讃歌」も、弟のジョージがルイスヴィルに住んでいたため、死後初めてこの雑誌に掲載された。
- ◆ **Gentleman's Magazine (1837-1840)**  
イギリス出身の俳優ウィリアム・バートンがフィラデルフィアで創刊した文芸誌。エドガー・アラン・ポーが一時期編集に携わった。「アッシャー家の崩壊」は本誌に発表された。
- ◆ **The Dial (1840-1844)**  
超絶主義運動の機関紙として、セオドア・パーカー、マーガレット・フルー、ラルフ・エマソンらによりボストンで創刊された季刊文芸誌。フルー、エマソンの他、ヘンリー・ソローが編集に携わり、自ら寄稿した。4年の短命雑誌だったが、ニュー

イングランドの超絶主義運動とその周辺事情を知るには不可欠の資料。

- ◆ **Graham's American Monthly Magazine (1841-1858)**  
広範な読者に向けて文学作品を提供した文芸誌。エドガー・アラン・ポーが一時期編集に携わった。「モルグ街の殺人」は本誌に発表された。
- ◆ **The Literary World (1847-1853)**  
ニューヨークの文芸誌。ニューイングランドの超絶主義には冷淡だった。当初は書評中心だったが、政治、社会から旅行まで多彩な記事を掲載した。
- ◆ **Sartain's Union Magazine of Literature and Art (1847-1852)**  
「ヘレンへ」「鐘」「詩の原理」等のポーの作品を掲載した。
- ◆ **The Atlantic Monthly (1857-1877)**  
エマソン、ホーソーン、ロングフェロー、オリヴァー・ウェンデル・ホームズ、ジェイムズ・ラッセル・ローウェルら、ボストンのサタデイ・クラブに集った知識人によって創刊された高級文芸誌。当初はニューイングランドの地域色の強い雑誌だったが、次第にマーク・トウェイン、ブレット・ハートら、全米各地の作家が寄稿するようになり、19世紀アメリカを代表する文芸誌へと脱皮した。
- ◆ **The Galaxy (1866-1876)**  
ニューヨークの文芸誌。マーク・トウェイン、ヘンリー・ジェイムズらが寄稿。トウェインは一時期、“memoranda”コラムの編集に携わった。
- ◆ **The Overland Monthly (1868-1875)**  
サンフランシスコで創刊。アンブローズ・ピアース、マーク・トウェイン、ジャック・ロンドンの初期の作品を掲載した。
- ◆ **The People's Literary Companion (1870-1871, 1876)**  
通信販売で発行部数を伸ばした大衆文芸誌。

## 美術誌・音楽誌

- ◆ **The Crayon (1855-1859)**  
19世紀半ばの最良の美術誌。
- ◆ **Dwight's Journal of Music (1852-1875)**  
アメリカ音楽誌のパイオニア。高等教育機関にまだ正式な音楽

教育課程がなかった19世紀アメリカにあって音楽理論や音楽批評の形成と音楽教育に多大な貢献をした。創刊者はユニテリアン派の牧師で音楽家のジョン・サリヴァン・ドワイト。

## 宗教誌

- ◆ **Christian Advocate**  
19世紀アメリカのキリスト教宗派の中で最も多くの雑誌を刊行したメソジスト教会の代表的雑誌。同教会の雑誌の多くは Christian Advocate の誌名を持ち、Michigan Christian Advocate のように発行地を誌名に入れて区別した。本コレクションは14誌の Christian Advocate を収録する。
- ◆ **The Massachusetts Baptist Missionary Magazine (1803-1816) / The American Baptist Magazine (1817-1835)**  
メソジスト教会と並んで精力的に雑誌を発行したバプテスト教会の代表的雑誌。
- ◆ **The Panoplist (1805-1820, 1850-1852, 1867-1868)**  
会衆派教会の雑誌。牧師でアメリカ地理学の父ジェディディア・モースが創刊。保守派の立場から自由主義的な神学を批判した。
- ◆ **The Independent (1848-1876)**  
会衆派教会の雑誌として創刊されたが、奴隷制廃止や女性参政権等の社会改革を志向した。
- ◆ **Bibliotheca Sacra (1844-1875)**  
会衆派教会の雑誌。
- ◆ **The Churchman (1831-1858)**  
アメリカ聖公会が発行した雑誌の中で最も重要な雑誌の一つ。

- ◆ **The Spirit of Missions (1836-1876)**  
米国内のキリスト教布教を推進するために創刊された米国聖公会の雑誌。
- ◆ **The Christian Disciple (1813-1823) / Christian Examiner (1824-1869)**  
ユニテリアン教会の重要雑誌。ユニテリアン教会の機関紙としてのみならず、文芸、思想、社会、教育など多彩な領域で優れた記事を掲載した。
- ◆ **Der Lutheraner (1844-1865)**  
ドイツ人移民がミズーリ州ペリー郡に設立したルーテル教会の牧師カール・ヴァルターにより創刊された中西部ルーテル教会を代表する雑誌。ドイツ語。
- ◆ **The Mercersburg Review (1849-1861)**  
ドイツ改革派教会内部で教義論争が繰り返される中、ペンシルヴァニア州マーサーズバーグを拠点に体系化された独自の教義、マーサーズバーグ神学の機関誌として創刊された。19世紀アメリカの重要神学雑誌の一つ。
- ◆ **American Messenger (1843-1876)**  
出版活動を通してキリスト教の布教を行なったアメリカ伝道冊子教会 (American Tract Society) が発行した雑誌。



## 女性誌

- ◆ **The Ladies' Magazine (1792-1793)**  
アメリカ初の女性誌。1年の短命に終わった。創刊号は“The Lady’s Magazine”だが、2号以降“The Ladies’ Magazine”になった。
- ◆ **Godey’s Lady’s Book (1830-1876)**  
ルイス・ゴードイが創刊。当初は平凡な女性誌だったが、1837年に Ladies Magazine を買収、同誌のサラ・ジョセファ・ヘイルを文芸担当編集長に起用し、エマソン、ロングフェロー、ポーラの有名作家、フランシス・オズグッド、キャサリン・マリア・セジウィック、リディア・シガニー、ハリエット・ピーチャー・ストウら女性作家を取り上げ、文芸誌のとしてのクオリティを押し上げ、南北戦争前には全雑誌の中で一二を争う雑誌に成長した。後の女性誌のモデル。最新モードを挿絵や版画で伝えるファッション・プレートを付録にした。
- ◆ **The Ladies’ Repository (1841-1876)**  
Godey’s Lady’s Book の成功を見たメソジスト教会が女性のモラル教育のツールとして創刊した雑誌。娯楽色は弱いが30年以上続いた。
- ◆ **Ladies’ National Magazine (1843-1849) / Peterson’s Magazine (1853-1876)**  
Godey’s Lady’s Book のライヴァル誌。南北戦争後にはその人気は Godey’s Lady’s Book をも凌ぐほどになった。
- ◆ **Arthur’s Home Magazine (1844-1846, 1861-1874)**  
19世紀アメリカの禁酒小説のベストセラー『酒場の十夜』のティモシー・シェイ・アーサーが創刊した女性誌。
- ◆ **Frank Leslie’s Gazette of Fashions & the Beau Monde (1854-1857)**  
イギリスの Illustrated London News の版画部門の責任者だったフランク・レスリーが渡米後に創刊。大判の図版を掲載。本コレクションには、Frank Leslie の名前を冠した雑誌が10誌以上収録されている。
- ◆ **The Lowell Offering (1840-1845)**  
マサチューセッツ州ローウエルの繊維工場で働く女工たちによって作られた雑誌。女工自ら物語や詩などの創作や回想録などを寄稿した。女工が発行する文芸誌の名前は米国内に止まらず、ディケンズら外国人旅行者を通じて外国にも広まった。
- ◆ **The Lily (1852-1859)**  
アメリカ・ブルマーが創刊。当初禁酒運動を掲げていたが、寄稿者のエリザベス・スタントンらに影響されて、次第に女性参政権を説くようになる。ブルマーは女性の服装改良にも熱心で、ブルマーの起源となった服装は本誌を通して広まった。
- ◆ **Demorest’s Monthly Magazine (1864-1868, 1873-1876)**  
裁縫職人としてニューヨークで名を成していたエレン・カーティス・デモレストが夫のウィリアムと創刊したファッション誌。当初型紙(パターン)の雑誌として始まったが、小説、料理、育児等の記事も増やし、女性誌として人気を博した。
- ◆ **The Revolution (1868-1872)**  
女性の権利拡張を掲げて、スーザン・アンソニーとエリザベス・スタントンが創刊。黒人男性の権利が注目を集める南北戦争後の状況にあって、参政権から離婚の権利、服装の改良、労働条件の改善、売春まで、女性の問題を広く世に問いかけた。

## 児童誌

- ◆ **The Children’s Magazine (1789)**  
アメリカ初の児童誌。
- ◆ **The Juvenile Miscellany (1826-1835)**  
初期児童誌の代表。初代編集長リディア・マリア・チャイルドの奴隷制廃止を主張した記事により失速し、廃刊。
- ◆ **The Youth’s Companion (1827-1865)**  
19世紀アメリカを代表する児童誌。発行機関がボストン会衆派日曜学校だったため、当初は宗教的・教育的色彩が強かったが、次第に娯楽的性格を強め、販売部数を伸ばした。
- ◆ **Merry’s Museum (1841-1870)**  
自然、歴史、伝記を題材に教育的読物を提供。読者の投稿欄「メリーの今月の友達のおしゃべり」が有名。『若草物語』のルーザ・メイ・オルコットが一時編集に携わった。
- ◆ **Frank Leslie’s Boys and Girls Weekly (1868-1876)**  
フランク・レスリーが得意の図版を生かして創刊した児童誌。

## 挿絵雑誌

- ◆ **Gleason’s Pictorial Drawing Room Companion (1851-1860)**  
アメリカの挿絵雑誌のパイオニア。イギリスの Illustrated London News がモデル。1855年編集者のマチューリン・バルーが雑誌を買取り、Ballou’s Pictorial Drawing Room Companion に改名された。
- ◆ **Punchinello (1870)**  
イギリスの『パンチ』をモデルに創刊された週刊諷刺画誌。わずか1年足らずの39号で廃刊された。

\* 19世紀アメリカを代表する挿絵誌 Frank Leslie’s Illustrated Newspapers は Nineteenth Century U.S. Newspapers に収録されています。

## 反奴隷制・奴隷制擁護誌

- ◆ **The Emancipator (1820)**  
クエーカー教徒のエリウー・エンブリーによりテネシー州ジョーンズボローで発行された月刊誌。奴隷制廃止を掲げた雑誌としては、エンブリーの Manumission Intelligencer に続く2番目。エンブリーの死により7号で休刊になった。
- ◆ **Genius of Universal Emancipation (1828, 1831-1833)**  
奴隷制廃止の活動家ベンジャミン・ランディにより創刊され、1820年代の各地の反奴隷制活動家を糾合した雑誌。
- ◆ **The Liberator (1831-1865)**  
反奴隷制を掲げた多くの新聞・雑誌の中で最も有名なもの。一時ランディとともに Genius of Universal Emancipation の編集に携わったこともあるウィリアム・ロイド・ギャリソンが創刊。奴隷制廃止論だけでなく奴隷制擁護論も掲載した同誌は奴隷制廃止論争の言説を知る上で最適な資料。
- ◆ **The Southern Quarterly Review (1843-1856)**  
南部の作家ウィリアム・ギルモア・シムズが編集。ルイジアナ州ニューオーリンズで発行された。奴隷制を擁護した。
- ◆ **The Old Guard (1863-1870)**  
ニューヨークで発行されながらも奴隷制擁護を掲げた雑誌。
- ◆ **The African Repository (1825-1887)**  
解放奴隷のアフリカへの移住を目的として創設されたアメリカ植民協会の機関誌。

\* アメリカ反奴隷制協会の公式機関紙として1833年に奴隷制廃止を掲げてニューヨークで創刊された新聞 The Emancipator は Nineteenth Century U.S. Newspapers に収録されています。

## 動物愛護、監獄改革、禁酒、反煙草誌

- ◆ **Our Dumb Animals (1868-1884)**  
動物愛護を掲げた雑誌の代表。マサチューセッツ動物虐待防止協会、全米動物愛護教育協会の創設者ジョージ・アンジェルが創刊。
- ◆ **Journal of Prison Discipline and Philanthropy (1845,1846, 1857-1865)**  
監獄改革を掲げた雑誌。フィラデルフィア監獄改革協会の機関誌。
- ◆ **The National Temperance Advocate (1866-1880)**  
本コレクションには 100 誌に及ぶ禁酒関係の雑誌が収録されて

- いて、19 世紀に禁酒運動が盛んであったことが分かる。本誌は 1865 年にニューヨークで禁酒関係文献の出版・流通を目的に創設された全米禁酒協会出版局の機関誌。若者向けの雑誌 *The Youth's Temperance Banner* も本コレクションに収録されている。
- ◆ **Anti-Tobacco Journal (1859-1873)**  
反煙草伝道師と自称した牧師のジョージ・トラスクが創刊した雑誌で煙草の弊害を伝道した。

## 教育誌

- ◆ **American Journal of Education (1855-1865)**  
アメリカ公教育制度の父で初代教育長官を務めたヘンリー・バーナードが創刊した雑誌。

## 科学・医学誌

- ◆ **The American Journal of Science (1818-1876)**  
イェール大学教授で化学者、地質学者のベンジャミン・シリマンによって創刊された科学誌で、ヨーロッパの最新科学をアメリカの読者に伝えた。
- ◆ **Scientific American (1845-1900)**  
一般読者向け科学啓蒙誌のパイオニア。現在も刊行されている。
- ◆ **Proceedings of the American Association for the Advancement of Science (1849-1915)**  
1847 年創立のアメリカ科学振興協会の会議録。
- ◆ **Journal of the American Geographical Society of New York (1859-1860, 1868, 1872-1878) / Bulletin of the American Geographical Society of New York (1873-1918) / The Geographical Review (1916-1922)**  
1851 年創設のアメリカ地理学会の機関誌。
- ◆ **Publications of the American Statistical Association (1888-1921)**  
アメリカ統計学会の機関誌で、今日の *Journal of the American Statistical Association* の前身。

- ◆ **The Medical Repository (1797-1823)**  
アメリカ最初の医学誌。サミュエル・レイサム・ミッチルら 3 人の医者により創刊。
- ◆ **The New England Journal of Medicine and Surgery (1812-1821) / The Boston Medical and Surgical Journal (1828-1876)**  
マサチューセッツ医学会の機関誌にして、現代アメリカ医学誌の最高峰 *The New England Journal of Medicine* の前身。
- ◆ **The Phrenological Journal and Life Illustrated (1838-1876)**  
19 世紀に欧米で流行した骨相学の雑誌。
- ◆ **Banner of Light (1857-1906)**  
19 世紀に欧米で流行した心靈主義の雑誌。
- ◆ **Religio-Philosophical Journal: Devoted to Spiritual Philosophy (1868-1876)**  
心靈主義の雑誌。

## 経営・工業・農業誌

- ◆ **Journal of the Franklin Institute (1826-1901)**  
1824 年創設の米国で最も権威ある工学研究機関フランクリン研究所の機関誌。
- ◆ **American Railroad Journal (1832-1838, 1845-1865)**  
鉄道雑誌のパイオニア。ヘンリー・バーナム・ブアー編集長の時代、当時の経営誌では珍しい鉄道会社の財務情報の提供に努めた。ブアーは雑誌を退いた後、今日のスタンダード・アンド・プアーズの前身の財務情報専門会社を設立した。
- ◆ **The Commercial Review of the South and West (1846-1847) / De Bow's Review (1847-1866) / New Orleans De Bow's Monthly Review (1870)**  
19 世紀アメリカ南部を代表する経営誌。地元ルイジアナを拠点にアンテベラム期における南部経済の振興に努めた。南北戦争前夜には奴隷制擁護、連邦離脱の論調を強めた。

- 寄稿者には奴隷制擁護論者のエドモンド・ラフィン（農業家）、サミュエル・カートライト（医者）らがいる。
- ◆ **The Country Gentleman (1853-1857) / The Cultivator & Country Gentleman (1867-1876)**  
農業雑誌のパイオニア。名誉と宗教を重んじるアメリカのカントリー・ジェントルマンの精神を体現する人物としてジョージ・ワシントンのイラスト入りの表題模様を掲げた。
  - ◆ **The Merchants' Magazine and Commercial Review (1856-1870)**  
19 世紀アメリカ北部を代表する経営誌。ニューヨークで発行。商人、職人、銀行家等の実務の人から、政治家、弁護士、学者まで、ビジネスに携わる人に役立つ情報を提供することを目的として創刊。同時代のビジネスに関する知識の宝庫。
  - ◆ **The Inland Printer (1884-1926)**  
印刷に関する雑誌。アール・ヌーヴォーの普及に貢献した。

## スポーツ誌

- ◆ **The Spirit of the Times (1837-1877) / Porter's Spirit of the Times (1856-1861) / Wilkes' Spirit of the Times (1859-1868)**  
19 世紀アメリカを代表するスポーツ誌。



## マイノリティ発行誌（アフリカ系アメリカ人、先住民、ウェールズ語）

- ◆ **The Mirror of Liberty (1838-1840)**  
初のアフリカ系アメリカ人系の雑誌。創刊者は奴隷制廃止の活動家デヴィッド・ラグルス。交通機関や教会での人種の隔離や解放奴隷の植民に強い反対の姿勢を示した。
- ◆ **L'Album Littéraire (1843)**  
ルイジアナ州ニューオーリンズで発行されたアフリカ系アメリカ人系のフランス語文芸誌。
- ◆ **The Anglo-African Magazine (1859-1860)**  
文学、政治から科学まで幅広い記事を提供し、アンテベラム期のアフリカ系アメリカ人系の雑誌の中では最も本格的な雑誌。アフリカ系アメリカ人の『アトランティック・マンスリー』と称されたこともある。寄稿者にはフレデリック・ダグラス、マーティン・ディレニー、フランシス・エレン・ワトキンス・ハーバー、ウィリアム・クーパー・ニールらがいる。
- ◆ **The Cherokee Messenger (1844-1846)**  
先住民のチェロキー族によって発行された雑誌。大半はチェロキー語だが、一部英語の記事もある。
- ◆ **Iapi Oaye (1871-1877)**  
サウスダコタで発行されたダコタ語の雑誌。
- ◆ **Y Cyfaill (1838-1876)**  
ニューヨークで発行されたウェールズ語の雑誌。
- ◆ **Y Cenhadwr Americanaidd (1840-1875)**  
ニューヨークで発行されたウェールズ語の雑誌。

## 米国外発行誌（イギリス）

- ◆ **The Gentleman's Magazine (1731-1850)**  
近代総合雑誌のパイオニアにして、後のマガジンのモデルとなったイギリスの月刊誌。1731年創刊で1907年まで続いた。本コレクションには1731年の創刊から1850年までの1,511号、約10万記事が収録されている。
- ◆ **The London Magazine (1732-1782)**  
The Gentleman's Magazine と並ぶ近代総合雑誌のパイオニア。創刊はThe Gentleman's Magazine の翌年。本コレクションには1732年から1782年までの482号、約21,000記事が収録されている。
- ◆ **The Monthly Review (1753-1820)**  
書評を専門とする評論誌のパイオニア。本コレクションには1753年から1820年までの756号、約29,000記事が収録されている。
- ◆ **The Scots Magazine (1756-1790)**  
エジンバラで刊行されたスコットランド初の総合雑誌。現在も刊行が続いている。本コレクションには1756年から1790年までの450号、約16,000記事が収録されている。
- ◆ **The Critical Review (1756-1816)**  
The Monthly Review に続く評論誌。本コレクションには1756年の創刊から1816年までの78号、約3,300記事が収録されている。
- ◆ **The Lady's Magazine (1761-1808)**  
The Gentleman's Magazine をモデルにして18世紀イギリスではThe Lady's Magazine というタイトルの女性誌が幾つか発行されたが、その一つ。
- ◆ **The Edinburgh Review, or Critical Journal (1803-1877)**  
イギリスロマン派時代を代表する評論誌。本コレクションには創刊の翌年の1803年から1877年までの285号、約4,600記事が収録されている。
- ◆ **Blackwood's Edinburgh Magazine (1817-1836)**  
ナポレオン戦争後の保守化の時代にThe Edinburgh Review に対抗して創刊された。保守派の牙城。
- ◆ **Bentley's Miscellany (1837-1850)**  
一時期ディケンズが編集長を務めた文芸誌。「オリバー・ツイスト」は本誌に掲載された。
- ◆ **Chambers's Journal of Popular Literature, Science, and Arts (1844-1877)**  
ウィリアムとロバートのチェインバース兄弟が発行し、19世紀半ばのイギリスで一時代を画した総合雑誌。1832年の創刊からしばらく Chambers's Edinburgh Journal のタイトルで刊行されていた。
- ◆ **Notes and Queries (1849-1877)**  
文学、言語から民俗、歴史、古事までイギリスの言語文化を考究することを目的にして創刊された学術的傾向の強い雑誌。『英国伝記辞典』『オックスフォード英語辞典』等の国家的プロジェクトに多大な示唆を与えた。
- ◆ **The Anti-Slavery Advocate (1852-1863)**  
ブリストルの医者ジョン・ビショップ・エストリンらが創刊。1833年法的に奴隷制が廃止された以後の時代を代表する反奴隷制雑誌。
- ◆ **The Cornhill Magazine (1860-1876)**  
ヴィクトリア朝を代表する高級文芸誌。サッカー、レスリー・スティーンらが編集に携わった。本コレクションには創刊の1860年から1876年までの114号、約5,200記事が収録されている。

## 米国外発行誌（カナダ）

- ◆ **The Nova Scotia Magazine (1790-1792)**  
カナダにおける最初の英文誌。
- ◆ **Canadian Illustrated News (1870-1872)**  
モントリオールの出版人ジョルジュ・エドゥアール・デスバラにより発行されたカナダ初の挿絵雑誌。
- ◆ **L'Opinion Publique: Journal Hebdomadaire Illustré (1872-1874)**  
ジョルジュ・エドゥアール・デスバラにより発行されたフランス語の挿絵雑誌。

## 米国外発行誌（アジア）

- ◆ **The Chinese Repository (1832-1846)**  
会衆派教会の牧師ライオン・コルマン・ブリッジマンが広東で創刊した中国紹介誌。
- ◆ **The Orunodoi (1846-1859)**  
インドアッサム地方シヴァサーガルで発行されたアッサム語の雑誌。日本でも宣教活動を行なったことがあるネイサン・ブラウンら、バプテスタ教会アメリカ人宣教師により発行された。
- ◆ **The Siam Repository (1869-1874)**  
サミュエル・J. スミスがバンコクで創刊した雑誌。